

武陽食品株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル

TEL 03-3211-4831 Fax 03-3211-6004



武陽月報は、大豆と共に情報をお届けするニュースレターです。

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

2019年は皆様にとってどのような年だったでしょうか。

2020年(令和2年)の十二支は子年(ねずみ)です。「子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥」の最初にあたり、これだけで何やら縁起が良く、商売もネズミ算式に売上倍増といきたいところです。また、今年はいよいよオリンピック・イヤーとなりますので、皆様には明るいニュースが多い年になりますことを心から願っております。弊社社員一同、今年も皆様のお役に立てますよう頑張っております。

令和元年産国産大豆の第一回入札結果

日本特産農産物協会より令和元年産大豆で初めてとなる12月の入札結果が発表されました。

平均落札価格(60kg当たり)は、普通大豆9,155円、特定加工用大豆8,355円、平均8,954円となり、30年産の初回入札(前年同月)と比較し、普通大豆で+1,163円値上がりし、9,235円をつけた30年産最終回入札価格と同水準でのスタートとなっています。

区分	上場数	落札率	平均価格	前年同月比	前年7月比	前年平均比
普通大豆	1,059トン	100%	9,155円	+1,163円	△98円	△78円
特定加工用	356トン	100%	8,355円	+357円	+5円	△87円
合計	1,416トン	100%	8,954円	+961円	△186円	△170円

一方、上場数量は下記の通り1,416トンと、近年では最も少なく2年前の平成29年12月の初回入札時の3,883トンと比較すると三分の一に近い減少となっています。この結果、落札率は100%、落札トン数も直近3年の中では最高の数量となりました。なお、上場銘柄は作柄が良好だった北海道と、東北、新潟の銘柄が中心となっています。

普通大豆の銘柄別落札価格では、北海道とよまさり大粒が9,232円と、前年同月の価格よりも+1,285円上昇。青森おおすず大粒は9,092円と、同比+1,237円の上昇。新潟エンレイは大粒・中粒とも1万円の大台を超え、大粒は同比で+1,928円の値上がりとなっています。

次回入札は1月22日(水)の予定です。

【過去3年の第一回上場数量の推移】

区分	今回	H30/12	H29/12
普通大豆	1,059トン	1,853トン	2,972トン
特定加工用	356トン	485トン	911トン
合計	1,416トン	2,338トン	3,883トン
落札率	100%(1,416トン)	45%(1,059トン)	24%(921トン)

【銘柄別落札価格】

産地	粒別	品種銘柄	今回	前年同月(H30/12)	増減
北海道	大粒	とよまさり	9,232	7,947	+1,285
青森	大粒	おおすず	9,092	7,855	+1,237
秋田	大粒	リュウホウ	9,200	8,380	+820
新潟	大粒	エンレイ	10,840	8,912	+1,928

なっとう幼稚園-納豆連

全国納豆協同組合連合会(納豆連)は子供たちに納豆の知識や、納豆への興味を深めてもらう「なっとう幼稚園」と題したイベントを開催し、“納豆が苦手な子供を「ゼロ」にする”、をモットーに、納豆のおいしさや、食べることの大切さをねば〜る君を通じて園児やそのお母さんたちに伝える活動を行っています。

ねば〜る君の読み聞かせや、子どもたちと納豆を食べるお食事タイム、ねば〜る君とのダンスタイムなど、ねば〜る君の伸び上がる姿と、笑顔の園児たちの歓声が響く、楽しいイベントです。

第3回目となる今回は、12月22日に納豆連と群馬県納豆組合が納豆の消費金額が常に上位に君臨する群馬県前橋市で開催、約500名もの来場があり、大いに盛り上がりました。

豆腐市場実態調査

森永乳業株式会社による豆腐市場の実態調査が行われ、「日本人の85%以上が好き！絹ごし豆腐の進化とは」と題したニュースレターが発表されました。調査結果によると、絹ごし豆腐が「好き」な人は85.4%にものぼり、木綿豆腐は78.1%、寄せ豆腐は76.7%など、豆腐はまさに日本の国民食と呼ぶにふさわしい食材であることが分かりました。

また、絹ごし豆腐を「週1回以上食べる」人は54.1%と、2人に1人以上の日本人が、週1回以上絹ごし豆腐を喫食しており、年代別には、60代の60%以上の方が「週1丁以上食べる」と回答、特に高齢の方にとって絹ごし豆腐が身近な食材であることが分かりました。

なお、週1回以上豆腐を食べる人に豆腐のどのようなところが好きかを聞いたところ、「価格が手頃」が66.3%、「栄養価が高い」が59.6%、「様々な料理に使える」が56.0%、「そのまま食べてもおいしい」が54.5%となりました。

19/20年度米国大豆需要予測、生産高は下方修正

米農務省が発表した19/20年度の米国产大豆需要予測によれば、作付・収穫面積、単収・生産高、供給量は前回から据え置きとなり、需要量も据え置かれました。この結果、期末在庫も前回並みの4億7,500万ブッシェル(在庫率11.8%)となった。

また、同時に発表された世界の大豆生産高予想は、ボリビアが減少したが、中国が増加したことにより、前年比0.3%増の3億3,748万tに上方修正された。

【世界の大豆生産高予想】 単位 百万トン

生産年度	19/20		18/19
	12/10	11/8	12/10
米国	96.62	96.62	120.52
ブラジル	123.00	123.00	117.00
アルゼンチン	53.00	53.00	55.30
パラグアイ	10.20	10.20	8.85
ボリビア	2.80	2.90	2.70
中国	18.10	17.10	15.90
インド	9.00	9.00	10.93
カナダ	6.00	6.00	7.27
ロシア	4.30	4.30	4.03
ウクライナ	3.70	3.70	4.46
EU	2.60	2.60	2.66
合計	337.48	336.56	358.21

【米国大豆需給予測】 単位 百万ブッシェル

生産年度	2019/20		18/19
	12/10	11/8	12/11
発表月日	12/10	11/8	12/11
作付面積(百万A)	76.5	76.5	89.2
収穫面積	75.6	75.6	87.6
1A当たり収量	46.9	46.9	50.6
期初在庫	913	913	438
生産量	3,550	3,550	4,428
合計+輸入量	4,483	4,483	4,880
搾油	2,105	2,105	2,092
種子	128	128	128
輸出	1,775	1,775	1,748
合計	4,008	4,008	3,967
期末在庫	475	475	913
在庫率	11.8%	11.8%	23.0%

□ 本社 03-3211-4831

□ 東北第一営業所 0229-54-1151

□ 山形出張所 0234-21-9144

□ 東北第二営業所 0243-24-5818

□ 飼料部宮城営業所 0229-25-8680

□ 飼料部福島営業所 024-593-5121

□ 大豆選別・挽割加工工場(宮城県美里町)

□ 大豆保管 第1・第2定温倉庫(宮城県大崎市)

*ご用命はお近くの営業所または本社営業部まで、お願いします。